

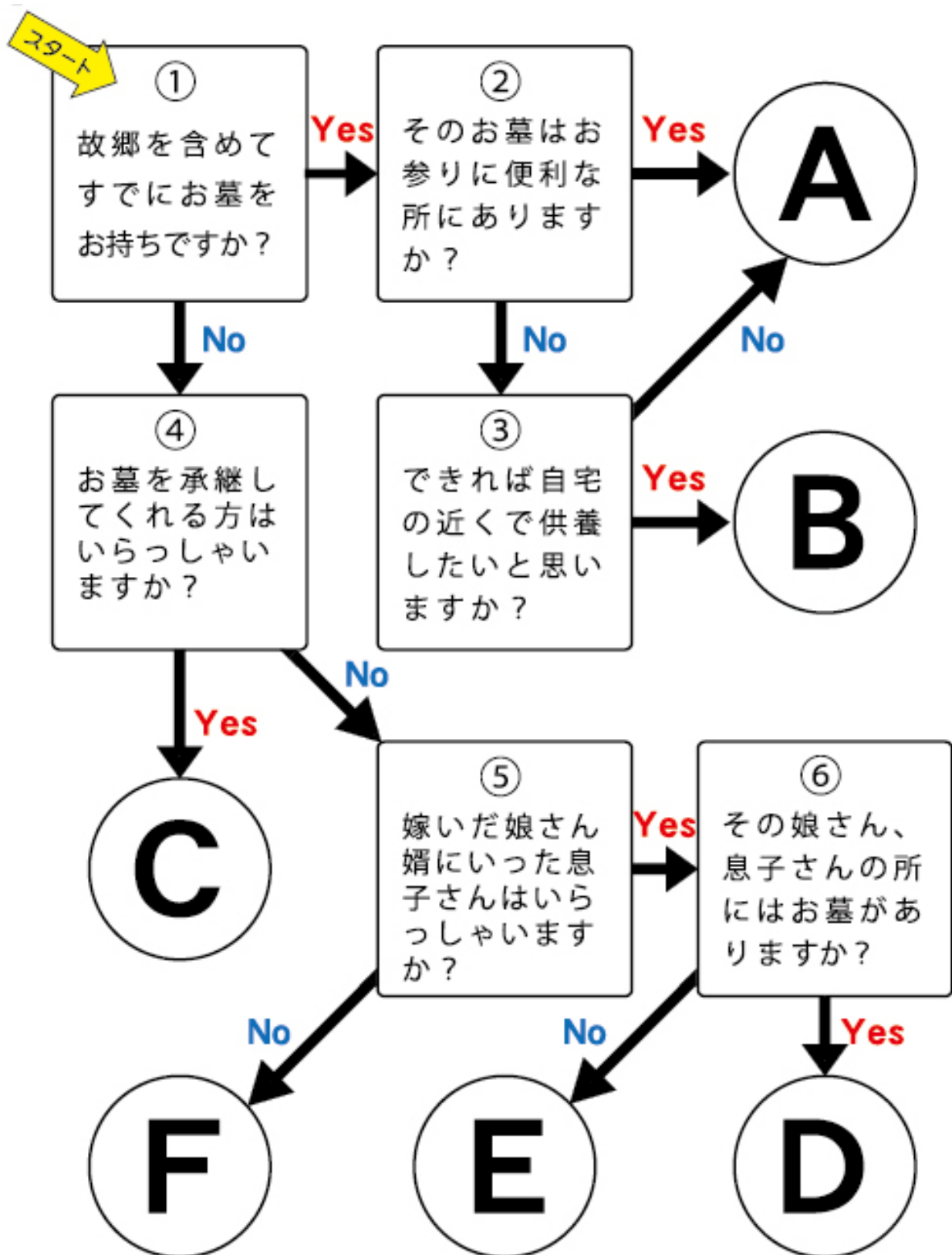
第1章

お墓について考える

～お墓を持っている人もこれからの方も～

「突然ですが、みなさんはお墓の相談ができる人は身近にいらっしゃいますか？」家族でもお墓の話題はタブー視されていてなかなか話題にできなかったり、切り出しづらかったりという話を耳にします。そこで、皆さんのお墓の悩みがすっきり解決できるよう本誌を作成しました。第1章では、すでにお墓を持っている方には、そのお墓をどうすればいいか。まだこれからお墓を探される方は、どんなお墓を探せばよいか。わかりやすいように、フローチャートを作成しましたので、自分がどのタイプに該当するか、ぜひ一度やってみてください。

お墓にまつわるフローチャート



A、便利な場所にお墓があるあなたは・・・

ご自宅の近くなど、お墓参りのしやすい便利な場所にお墓があるあなたは、ぜひ今のお墓を大切に守って行ってください。お墓は故人の供養をする場所であると同時に、ご先祖様があって今の自分があるという家族の絆を実感できる場であり、子供達に、「ご先祖様が見てるからね。悪いことはしちゃいけないよ」と教え込む道德教育の場でもあります。そんな大切な場所をこれからも守って行ってください。

ここからは、少しお節介な話になるかもしれませんが、お墓は定期的なメンテナンスが必要なことをご存知でしょうか？お墓参りのときのお手入れはもちろんですが、お墓は、365日雨風にさらされ、夏場には50度近くまで加熱され、冬場には0度以下になることもある非常に過酷な環境下にあります。そのため、石が欠けたり、目地が切れたり、金属部品が破損したりすることもあります。また、最近ではお墓の耐震施工が施されるのが当たり前になってきましたが、古いお墓では、石を積み重ねただけのお墓もまだ存在します。日本石材産業協会が行った実験では、何も対策を行っていないお墓は震度6弱で石が横ずれし、震度6強で倒壊するという結果が得られています。

上記のようなお墓の補修、メンテナンス、耐震施工も担当してもらった石材店に相談をすると請け負ってくれることもあります。もし、気になるようでしたら石材店にご相談いただくとよいかと思います。もちろん、フラワーメモリアル国立府中にご相談いただいてもかまいません。

B、家の近くでお墓参りがしたいあなたは・・・

ご自宅の近くでご供養をしたいというあなた。お墓のお引越しができることをご存知でしょうか。引越しにも、お墓に入っているご遺骨すべてを近くに持ってきて今のお墓を撤去する方法のほかに、骨壺の中の遺骨の一部だけ取り出して持ってくる方法もあります。「第6章 お墓の引っ越しについて」では、そんなお墓の引越しの疑問にお答えします。お墓の引越しが気になる方は、ぜひ第6章をご覧ください。

C、お墓を守ってくれる方がいるあなたは・・・

お墓をまだお持ちではないけれども、お墓を守ってくれる方がいらっしゃるあなたには、ぜひ通常のお墓を探すことをお勧めします。これは、全優石（全国優良石材店の会）の吉田会長がいつも講演で話される話ですが、とある受刑者の心のケアをされているお坊さんが、受刑者に「お墓参り」についてアンケートを採ったところ、98%がお墓参りをしたことがないと回答したそうです。お墓参りと犯罪の因果関係はわかりませんが、Aでも書かせていただいた通り、お墓は、家族の絆を実感できる場であり、絶好の道德教育の場であり

ますので、ぜひ、通常のお墓を探すことをお勧めします。第2章から第4章まで、お墓探しからお墓を建てるまでのポイントを書かせていただきましたので、ご参考になさってください。

D、子供の嫁ぎ先、養子先にお墓があるあなたは・・・

お墓を守ってくれる方がおらず、子供の嫁ぎ先、養子先にお墓があるあなたは、まず、嫁ぎ先、養子先の家とお墓について話し合うことをお勧めします。かつては、旦那のお墓に嫁の両親のお骨を入れることを嫌われる方もおりました。しかし、出生率の低下などを背景に、その考え方も少しずつ変わってきており、最近では、「両家墓（りょうけはか）」という言葉も定着してきているほど、一般化してきています。永代供養墓に入るという選択肢もありますが、まずは、相談をされるのがよいかと思います。

また、例えば、嫁ぎ先、養子先に男の子が2人いる場合には、長男が父方の代々のお墓を継承して、次男が母方のお墓を継承してくることもできます。わからないことがあれば、フラワーメモリアル国立府中までご相談ください。

E、子供の嫁ぎ先、養子先にお墓がないあなたは・・・

お墓を守ってくれる方がおらず、子供の嫁ぎ先、養子先にお墓がないあなたは、お墓について、お子さんたちと話し合ってみることをおすすめします。Dでもお話しさせていただいた通り、「両家墓」という共同でお墓を建てることも一般的になりつつありますので、ぜひ一度相談されてはいかがでしょうか。わからないことがあれば、フラワーメモリアル国立府中までご相談ください。

F、お墓の後継者のいないあなたは・・・

お墓の後継者のいないあなたは、ご親戚がいらっしゃれば、まずはご相談されてはいかがでしょうか。日本も少子化の時代を迎え、後継者のいないケースが今後も増えてくると予想されます。それに伴って考え方も変化していくと思われしますので、まずは相談されるのがよいでしょう。

また、最近では、後継者のいない方のために、永代供養墓というお墓が登場しております。これは、後継者の代わりに墓地の管理者がお墓の管理・供養を続けていくタイプのお墓です。第5章では、永代供養墓についてまとめてありますので、参考になさってください。